

「先進医療特約」について知っていますか？

～ママFPのひとりごと③～

ファイナンシャルプランナー 鈴木さや子

「健康保険で補償されない部分を手厚く補償します！」という謳い文句で、CMなどでもよく目にする「先進医療特約」。最近、「この特約は一体なに？」「つけた方がいいの？」など、ママたちからよく相談を受けています。

そこで今月はこの特約に注目。先進医療特約とは一体どんなものなのか、つけるべきなのか、基本的なことと、その必要性を考えていきたいと思います。

1. 先進医療とは何なのかを知りましょう

この特約は、厚生労働大臣が認可する先進医療にあたる治療を受けた時に、治療の種類に応じてお金が支払われる特約です。この特約を医療保険や、がん保険につけることによって、通常の補償以外に、最新の医療技術を用いた先進医療にかかった費用に備えることができるものです。

それでは先進医療とは一体何なのでしょう。理解するためのポイントを整理しました。

【先進医療を理解するポイント】

(参考：厚生労働省 HP <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukvoku/isei/sensinirvo/index.html>)

- ①厚生労働大臣が認可した治療を、認められた医療機関で受けた場合のみ先進医療と認定されます。
→医療機関にも制限がありますので、紹介を受けられない、遠いなどの理由で別の病院で治療してしまうと、先進医療と認定を受けられないことに注意が必要です。
- ②厚生労働大臣が認可する先進医療は現在 92 種類 (23 年 8 月時点)
→先進医療は、将来保険適用できるようになるかを検討する段階にある医療なので、この数は進歩する医療技術に伴って、随時変更されます。
- ③先進医療で認可されていたものが一般的に行われる治療法にまで普及した場合、先進医療から外されて、通常の保険診療となります。
→保険を契約した時には先進医療だったものが、いざ病気になり治療を受けようという時には先進医療から外されているなんてこともあり得ます。
- ④先進医療にかかる費用は、全額自己負担になります。
→先進医療にかかる費用は、全額自己負担となり高額療養費も支給されません。ただし通常の治療と共通する部分(診察・検査・入院料など)は、健康保険がきき、一定額以上は高額療養費も受け取れます。なお、実際にかかる費用は先進医療の種類や治療する医療機関によっても異なり、数千円から数百万円まで様々です。

上記④にあるように、先進医療は主に最新設備や高度な技術を必要とするものが多く、高額な治療費

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

がかかっても健康保険が適用されず高額療養費の対象にもなりません。例えばがん治療のひとつである「重粒子線治療」や「陽子線治療」などは300万円前後の負担にもなります。こうした高額な負担に備えて、先進医療の技術料の実費分を保険で補えるようにしたものが「先進医療特約」なのです。

2. 先進医療の治療費は本当にそんなにかかるの？

前項で先進医療の治療費は300万円！と書きましたが、実は先進医療の内そんなに費用がかかるものはほんの数技術になります。厚生労働省の平成22年度実績報告(※)によれば、一人あたりの治療費が100万円以上かかるものは4技術、10万円未満のものは35技術、最も費用のかからないものは11,700円で済んでいることがわかります。

保険会社のパンフレットに載っている「300万円もかかる先進医療」という文言は間違っていないのですが、すべてが高額というわけではないことを理解しておきましょう。

(※)平成21年7月1日～平成22年6月30日の実績報告・実際に治療が行われた第2項先進医療技術数は68技術
URL: <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001f4sz-att/2r9852000001f50v.pdf>

3. 保険料はいくらくらいするの？

高いもので数百万円もの補償をしてもらえるのだから、さぞかし保険料は高いんじゃないの？そう考えるママは多いようです。でもご安心を。実は先進医療特約部分の保険料は缶コーヒー1缶分前後、数十円から100円～200円台で収まるものが殆どです。これは裏を返せば、保険会社として先進医療給付金としてのお金をそんなに用意しなくても済んでいることの表れ。ということは、まだ給付金支払いの件数がさほど多くないのが現状のようです。先の実績報告によれば、平成22年度でのべ7,913名(※)の方が先進医療を受けられましたが、その内実際に給付金が支払われた実績は、おそらくまだそんなには多くはないのではないのでしょうか。

(※先進医療のうち第2項先進医療の患者数)

4. で、結局つけた方がいいの？

保険料が100円前後で済むのであれば、つけようかしらと思われることでしょう。実際、たったこれだけの負担で、万が一の数百万円の治療費を補償されるのですから、この特約をつけるに越したことはないと思われます。ただし次のポイントに注意しておきましょう。

【先進医療特約について考えるポイント】

- ①多くの保険会社で、先進医療特約による保障金額に上限を設けています。
- ②同じ保険会社で販売しているガン保険と医療保険について、どちらかに先進医療特約をつけると、もう片方にはつけられません。
- ③すでに加入している医療保険に付けられるのであれば100円前後の負担ですみます。ですが新たな保険に入り直さなければ特約が付けられない場合は、解約して損するお金などもありますので、そのコストのことを考慮して、必要かどうかを検討した方がよいでしょう。

万が一の高額の治療費に備えて、先進医療特約のついた保険に加入することは間違っていないと思います。ただ、数百万もする先進医療の治療を受ける確率はかなり低く、何かしらの先進医療を受けても、そんなに高額な負担にはならない可能性もあることを理解した上で、検討したいものです。

すでに入っている保険を見直しさせて、新たな保険に加入させるセールストークにもなっている感のあるこの特約。わたしたち消費者が、きちんと商品を理解して、営業マンの言葉に踊らされることなく、自分に必要なものを必要なだけお金を出して購入（＝契約）したいものですね。

《今月のお気に入り曲》

歌劇「イーゴリ公」より序曲
／ボロディン作曲

「イーゴリ公」といえば「だったん人の踊り」が有名ですが、序曲も負けず劣らず良い曲で、ロシアの広大な風景を思わせるとてもさわやかな1曲です。